

## 菅原 憲一（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) 久保君論文 基礎理学療法学 補足運動野への一過性機能脱落が予測的姿勢調整に及ぼす影響. 久保大輔, 高木武蔵, 鈴木智高, 菅原憲一日本基礎理学療法学雑誌 25(1) pp27-34 2022年10月
- 2) Development of an Agricultural Arm Support Suit Which Requires No Power Source Yoshihiro Kai, Reo Sukejima, Takehiro Nagatsu, Yuma Takenaka, Kenichi Sugawara 2023 IEEE/SICE International Symposium on System Integration, SII 2023 2023年
- 3) Temporal synchronization for in-phase and antiphase movements during bilateral finger- and foot-tapping tasks. Atsuki Numata, Yasuo Terao, Nozomi Owari, Chiho Kakizaki, Kenichi Sugawara, Yoshikazu Ugawa, Toshiaki Furubayashi. Human movement science 84 102967-102967 2022年6月7日

### 4 学会等での活動

- 1) 富崎 優花, 広瀬 一徹, 竹中 悠真, 菅原 憲一: 筋出力差の学習が運動イメージに与える影響. 第27回基礎理学療法学学会学術大会大阪国際会議場(グランキューブ大阪) 令和4年10月2日
- 2) 小久江 智耶, 竹中 悠真, 松江 優河, 黒澤 千尋, 土田 将之, 菅原 憲一: 能動的な歩行速度調整に関わる運動学的要因. 第27回基礎理学療法学学会学術大会. 大阪国際会議場(グランキューブ大阪) 令和4年10月2日
- 3) 高木 武蔵, 菅原 憲一: 体幹肢位の違いが足関節背屈直前のヒラメ筋の中樞神経系制御動態に及ぼす影響の検討 第27回基礎理学療法学学会学術大会. 大阪国際会議場(グランキューブ大阪) 令和4年10月2日
- 4) 尾川 雄紀, 竹中 悠真, 菅原 憲一: 短時間末梢神経電気刺激が足関節随意運動時の皮質脊髄路興奮性に及ぼす影響 第27回基礎理学療法学学会学術大会. 大阪国際会議場(グランキューブ大阪) 令和4年10月2日
- 5) 竹中 悠真, 松本 仁美, 鈴木 智高, 菅原 憲一: 筋弛緩運動イメージ中の皮質脊髄路興奮性変化動態. 日本臨床神経生理学会第52回学術大会(京都国際会館) 令和4年11月24日

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本基礎理学療法学会 評議委員 (2021年9月16日から)
- 2) 三浦市障害者介護給付等の支給に関わる審査委員
- 3) 日本基礎理学療法学術大会 演題査読委員
- 4) 日本理学療法学会連合の和雑誌『理学療法学』、洋雑誌 Physical Therapy Research 編集委員

- 5) 日本理学療法学会連合の和雑誌『理学療法学』、洋雑誌 Physical Therapy Research 『理学療法学』 論文査読委員
- 6) 第 27 回基礎理学療法学会学術大会 一般口頭演題座長. 大阪国際会議場（グランキューブ大阪）令和 4 年 10 月 2 日
- 7) 神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科理学療法学専攻同窓会. 20 周年記念式典講師. 令和 5 年 3 月 20 日
- 8) 神奈川県立保健福祉大学ヒューマンサービス講座 講師. 令和 4 年 10 月 22 日

## 6 学内教育活動

- 1) 基礎運動療法学における視聴覚教材作成、運動療法各種手技に関する演習指導の開発
- 2) 電気生理診断特論における視聴覚教材および実習指導教材作成、実験結果発表指導
- 3) 大学院博士前期課程『運動機能制御学特論および特論演習』における実験方法論および講義視覚教材作成
- 4) 大学院博士後期課程『リハビリテーション病態解析学特論および特論演習』における実験指導
- 5) 大学院修士博士前期課程院生（M1；2名，M2；1名）の指導教員
- 6) 大学院博士後期課程院生 2名（D1：2名、D2：1名、D3：1名）の指導教員

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 研究科運営会議 委員長
- 2) 総務企画委員会 委員
- 3) 全学入試委員会 委員
- 4) 自己評価審査会 委員
- 5) COI 委員会 委員

## 8 社会貢献

- 1) 日本赤十字社神奈川県支部 評議員（令和 4 年 3 月まで）
- 2) 東京都立大学 人事外部委員
- 3) 慶育病院リハビリテーション科 非常勤理学療法士（臨床指導）

## 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 令和 2 年度～令和 5 年度 科学研究費助成（基盤研究 C）運動スキル特異的電気刺激を用いた新たなリハビリテーションプログラムの開発 研究代表者
- 2) 令和 3 年度～令和 6 年度 科学研究費助成（基盤研究 C）研究分担者

## 仙波 浩幸（大学院保健福祉研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 監修 先崎章、編集 仙波浩幸、香山明美：PT・OT ビジュアルテキスト精神医学，羊土社，2022.
- 2) 仙波浩幸：理学療法士及び作業療法士法．平林勝政・他編集『ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障④看護をめぐる法と制度第4版』，メディカ出版，2023.（分担執筆）

### 2 学術論文

- 1) 仙波浩幸：理学療法士誕生の歴史．神奈川県立保健福祉大学誌 20(1)：13-21、2023.
- 2) 仙波浩幸：精神・心理的問題を有する患者に対するこれからの理学療法を展望する．理学療法 40(2)：162-168、2023.

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本理学療法士学会連合 精神心理領域理学療法研究会 副理事長
- 2) 日本リハビリテーション教育評価機構 評価員
- 3) 日本理学療法士協会 学術総会検討委員会 委員
- 4) 臨床実習指導者講習会（主催：神奈川県立保健福祉大学）講師 2022.9.30～10.1
- 5) 臨床実習指導者講習会（主催：横浜リハビリテーション専門学校）講師 2022.12.3～4

### 6 講演，放送

- 1) 仙波浩幸：精神科リハビリテーションにおける理学療法士の役割．東京都港区中央部高次脳機能障害合同研修会 東京慈恵会医科大学附属病院リハビリテーション医学講座、2022.11.14

### 7 学会等での活動

- 1) 仙波浩幸：精神科領域の理学療法確立への課題と方策．日本理精神心理領域理学療法研究会シンポジウム，2022.9.25

### 9 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会委員
- 2) 進路支援WG WG長
- 3) 国際協働部門委員
- 4) 内部質保証推進部会部員

## 内田 賢一（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) (公社) 日本理学療法士協会 代議員 2022.4.1～2023.3.31
- 2) (公社) 日本理学療法士協会 組織運営協議会委員 2022.4.1～2023.3.31
- 3) (公社) 日本理学療法士協会雑誌 Up to date 編集部会長 2022.4.1～2023.3.31
- 4) (公社) 神奈川県理学療法士会 会長 2022.4.1～2023.3.31
- 5) 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会「働きやすい環境作り検討委員会」副委員長 2022.4.1～2023.3.31
- 6) (公社) 神奈川県理学療法士会 表彰委員会 委員長 2022.4.1～2023.3.31
- 7) 臨床実習指導者講習会神奈川県協議会 会長 2022.4.1～2023.3.31
- 8) 神奈川県病院医療関係団体連絡協議会 会長 2022.4.1～2023.3.31
- 9) 神奈川県医療専門職連合会 副会長 2022.4.1～2023.3.31
- 10) 神奈川県民医療推進会議 団体理事 2022.4.1～2023.3.31
- 11) 「The Journal of Physical Therapy Science」査読委員 2022.7.1～2023.3.31

### 5 社会貢献

- 1) 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 臨床アドバイザー 2022.4.1～2023.3.31
- 2) 神奈川県立大和南高等学校 大学説明会 2022.5.9
- 3) 山梨県立甲府第一高等学校 高校訪問 2022.8.2
- 4) 神奈川県立舞岡高等学校 大学見学 2022.11.10
- 5) 神奈川県立大船高等学校 大学説明会 2023.3.20

### 6 講演，放送

- 1) (公社) 神奈川県理学療法士会主催 管理者研修（初級） 「神奈川県理学療法士会の組織と運営」 2023.2.18. (WEB)

### 8 学内教育活動

- 1) VPI 職業興味検査を用いた理学療法士としてのキャリア教育
- 2) 学部) 生活環境学の地域環境調査
- 3) 学部) 呼吸・代謝系運動療法学の講義および視聴覚教材作成
- 4) 学部) 理学療法管理学 I・II の講義および視聴覚教材作成
- 5) 学部) スポーツ理学療法学特論の講義および視聴覚教材作成
- 6) 学部) 救命救急学の講義および視聴覚教材作成
- 7) 学部) 卒業研究指導 (2名)
- 8) 大学院) 運動機能障害理学療法学特論の講義および視聴覚教材作成
- 9) 大学院) 博士前期課程 指導教員 1名

### 9 学内各種委員会活動

- 1) 学部入試委員会 委員
- 2) 動物実験専門部会 委員

- 3) 大学院博士前期課程 入試面接・作問委員
- 4) FD 委員会主催 アクティブラーニング講習会 「反転授業」講師 2023.1.18.
- 5) オープンキャンパス運営委員
- 6) ミニオープンキャンパス運営委員

#### 14 その他

- 1) 夢ナビ 学問のミニ講義公開「人工呼吸器はいいことばかり？」
- 2) オープンキャンパス 入試相談
- 3) 推薦入試 面接官
- 4) 公益社団法人神奈川県理学療法士会創立 50 周年記念誌 巻頭言 2022.3.
- 5) 公益社団法人神奈川県栄養士会法人設立 50 周年記念誌 祝辞
- 6) 一般社団法人神奈川県作業療法士会創立 40 周年記念誌 祝辞
- 7) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 会誌「技術と研究」巻頭言
- 8) サークル「釣り部」顧問 2022.4.1～2023.8.31
- 9) サークル「音楽サークル」顧問 2022.4.1～2023.3.31
- 10) サークル「音楽部」顧問 2022.4.1～2023.3.31
- 11) 横浜薬科大学薬学部臨床薬学科 「リハビリテーション概論」非常勤講師 2022.10.1～2023.3.31.

## 島津 尚子（大学院保健福祉研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) 吉川大志, 島津尚子, 藤田峰子, 隆島研吾. (2022). 免荷式歩行器を用いた歩行練習が回復期脳卒中片麻痺者の歩行速度に与える即時的変化. 支援工学理学療法学会誌, 2(1), 5 - 13.
- 2) 吉川大志, 飯田健治, 國友公太, 島津尚子. (2023). 免荷式歩行器の前進負荷機能を用いた歩行練習により歩行能力が改善した既往症を有する腰部脊柱管狭窄症の1例. 理学療法ジャーナル, 57(3), 357-362.

### 3 その他の著作

- 1) 渡邊郁海, 藤田峰子, 島津尚子, 隆島研吾. (2023). 電気刺激による筋収縮が筋膜滑走性に与える影響. 理学療法：技術と研究, 51号, 87-89.

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会学術局学術編集部査読係係長 2022.4～2023.3
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会学術局新人教育部部員 2022.4～2023.3
- 3) 神奈川リハビリテーション研究会幹事 2022.4～2023.3
- 4) 神奈川ポバース研究会 2021.4～2022.3
- 5) 臨床実習指導者講習会（主催：神奈川県立保健福祉大学）講師 2022.9.30～10.1
- 6) 臨床実習指導者講習会（主催：北里大学）講師 2022.10.29～30

### 5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 個別相談会 2022.8.
- 2) 高校生向け出張講座「人はどのように立ち、立ち上がっているの？人の動きのしくみとは」：大和西高校 2021.11.21
- 3) 高校生向け出張講座「人はどのように立ち、立ち上がっているの？人の動きのしくみとは」：神奈川県立横浜氷取沢高校 2021.12.9
- 4) らくらく介護研修「バイオメカニクスに基づいた介助する側・される側、両者に負担の少ない介助方法」 神奈川県立保健福祉大学実践センター 2022.9.12～13

### 7 学会等での活動

- 1) 渡邊郁海, 藤田峰子, 島津尚子, 隆島研吾 (2022). 電気刺激による筋収縮が筋膜滑走性に与える影響～超音波診断装置による評価～. 第10回日本運動器理学療法学術大会. 2022.9.24～25
- 2) 第20回日本神経理学療法学術大会座長 2022.10.16

### 8 学内教育活動

- 1) 成人中枢神経系運動療法学における視聴覚教材作成
- 2) 中枢神経系運動療法学演習における視聴覚教材作成
- 3) 義肢装具学における視聴覚教材作成

- 4) 義肢装具学演習における視聴覚教材作成
- 5) 中枢神経疾患アプローチ特論における視聴覚教材作成
- 6) 感覚運動アプローチ論における視聴覚教材作成
- 7) 理学療法学研究法演習 研究指導 3名
- 8) 理学療法卒業研究 研究指導 2名
- 9) 理学療法士国家試験対策 ショートレクチャー（義肢装具学・中枢神経系）担当
- 10) 評価学実習，総合臨床実習Ⅰ・Ⅱにおける現場訪問等
- 11) 客観的臨床能力試験（OSCE）の運営
- 12) 大学院「地域理学療法学特論」における視聴覚教材作成
- 13) 博士前期課程 指導教員（1名）
- 14) 保健福祉研究科研究生 指導教員（1名）
- 15)

#### 9 学内各種委員会活動

- 1) 研究科入試委員会 2022.4.1～2023.3.31
- 2) オープンキャンパス準備 2022.8
- 3) オープンキャンパス・個別相談会運営 2022.8

#### 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 研究代表者：黒河内仙菜（分担者 島津尚子）  
研究課題名：脳卒中患者に対する退院前訪問指導マニュアルの開発  
補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（c）（2020～2022年度）

#### 14 その他

- 1) 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター非常勤職員 2022.4～2023.3

**鈴木 智高** (大学院保健福祉学研究科兼務)

## 2 学術論文

- 1) 久保大輔, 他. (2022). 補足運動野への一過性機能脱落が予測的姿勢調整に及ぼす影響, 基礎理学療法学; 25(1): 27-34
- 2) Tsuchida M, Takenaka Y, Kokue T, Suzuki T, Kurosawa C, Yokouchi Y, Kai Y, Eng D, Sugawara K. Evaluating the immediate effect of the speed alteration task on walking stability using the Timed Up and Go test. The Journal of Physical Therapy Science 2023; 35, 281-288. (in press)
- 3) Matsumoto H, Takenaka Y, Suzuki T, Sugawara K. The effect of initiation prediction and nonprediction on muscle relaxation control. The Journal of Physical Therapy Science 2023; 35, 293-299. (in press)

## 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 新人教育部部員. 通年

## 5 社会貢献

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会横須賀三浦ブロック運営委員. 通年

## 6 講演, 放送

- 1) (公社) 日本理学療法士協会臨床実習指導者講習会講師. 2022.7.3-4
- 2) (公社) 日本理学療法士協会第 873 回臨床実習指導者講習会講師. 2022.9.30-10.1
- 3) 第 12 回ヒューマンサービス研究会 シンポジスト. 2022.10.30

## 8 学内教育活動

- 1) 筋・骨格系機能障害評価学. 2022.4～2022.9
- 2) 運動学演習. 2022.4～2022.9
- 3) 動作解析学. 2022.4～2022.9
- 4) 運動機能制御学特論. 2022.4～2022.9
- 5) 卒業研究法 学生 3 名指導. 2022.4～2023.3
- 6) 運動学 I. 2022.10～2023.3
- 7) 運動学 II. 2022.10～2023.3
- 8) 臨床運動学. 2022.4～2023.9
- 9) 理学療法学研究法演習 学生 2 名指導. 2022.10～2023.3
- 10) 運動機能制御学特論演習. 2022.10～2023.3
- 11) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー. 2023.1.10
- 12) 評価学実習・総合臨床実習 I・II. 2022.4～2023.3
- 13) 博士前期課程 院生 1 名指導教員, 2 名副指導教員. 2022.4～2023.3
- 14) 理学療法学専攻国家試験対策担当
- 15) 理学療法学専攻臨床実習指導者講習会担当
- 16) 理学療法学専攻 17 期生担任

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員会, 副委員長. 通年
- 2) 研究科運営会議, 運営委員. 通年

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C) : 4,030 千円、研究課題名「歩行中の注意負荷量に対応する歩行調節能力を指標とした転倒予防戦略の構築」、鈴木智高 (研究代表者)
- 2) 基盤研究 (C) : 4,290 千円、研究課題名「運動スキル特異的電気刺激を用いた新たなリハビリテーションプログラムの開発」、鈴木智高 (研究分担者)、菅原憲一 (研究代表者)

14 その他

- 1) 湘南医療大学 非常勤講師. 通年
- 2) 医療法人徳昌会あきやま医院 非常勤職員. 通年

## 平瀬 達哉（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) Hirase T, Inokuchi S, Koshikawa S, Shimada H, Okita M. (2022). Preventive effect of an intervention program with increased physical activity on the development of musculoskeletal pain in community-dwelling older adults: a randomized controlled trial. *Pain Med*, Nov 2;pnac164. doi: 10.1093/pm/pnac164. Online ahead of print.
- 2) Honda H, Ashizawa R, Take K, Hirase T, Arizono S, Yoshimoto Y. (2022). Effects of chronic pain on the occurrence of falls in older adults with disabilities: a prospective cohort study. *Physiother Theory Pract*, Nov 6:1-9. doi: 10.1080/09593985.2022.2141597. Online ahead of print.
- 3) Kataoka H, Hirase T, Goto K, Nomoto Y, Kondo Y, Nakagawa K, Yamashita J, Morita K, Honda Y, Sakamoto J, Okita M. (2023). Effects of a rehabilitation program combined with pain management that targets pain perception and activity avoidance in older people with acute vertical compression fractures: a randomized controlled trial. *Pain Res Manag*, 1383897, 1383897.

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人 日本ペインリハビリテーション学会 理事
- 2) 一般社団法人 日本ペインリハビリテーション学会 倫理委員会委員長
- 3) 一般社団法人 日本理学療法学会連合 編集委員会査読委員

### 5 社会貢献

- 1) オープンキャンパスでの学生相談

### 6 講演，放送

- 1) 令和4年度横須賀市市民大学での講演  
テーマ：「骨折予防対策としての運動の重要性」  
日時：2022年9月6日
- 2) 令和4年度横須賀・三浦ブロックゆめクラブでの講演  
テーマ：「高齢期における転倒とその予防対策」  
日時：2022年10月25日

### 7 学会等での活動

- 1) 平瀬達哉. 高齢者における疼痛の特性とその介入戦略の実際. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会シンポジウム「ロコモ・サルコペニア・フレイル疼痛への挑戦」, 神戸, 2022年6月12日.
- 2) 平瀬達哉, 越川翔太, 島田陽向, 井口 茂, 沖田 実. 高齢者に対する身体活動促進プログラムは運動器疼痛の新規発生の予防に効果的か?—ランダム化比較試験による効果検証—. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会, 神戸, 2022年6月12日.
- 3) 平瀬達哉, 越川翔太, 島田陽向, 井口 茂, 沖田 実. 高齢者に対する身体活動促進プロ

グラムは運動器疼痛の新規発生を予防するーランダム化比較試験による検証ー. 第9回日本予防理学療法学会学術大会, 東京, 2022年11月19日.

## 8 学内教育活動

- 1) 「日常生活活動学」における視聴覚教材の作成
- 2) 「日常生活活動学演習」における視聴覚教材の作成および演習指導
- 3) 「地域理学療法学」における視聴覚教材の作成
- 4) 「地域理学療法見学実習」における視聴覚教材の作成および実習前後学内セミナーの指導
- 5) 大学院博士前期課程「臨床理学療法学特論」における視聴覚教材の作成
- 6) 大学院博士前期課程「臨床理学療法学特論演習」における研究指導

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献部門委員
- 2) 学内実習ステーションワーキング委員

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 平瀬達哉. 高齢者の慢性疼痛対策としての予防重視型介入戦略の開発とその効果検証. 科学研究費補助金若手研究(課題番号: 19K19869). 研究代表者. 4,030,000円. 令和2年度～令和5年度

## 藤田 峰子（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) 吉川 大志, 島津 尚子, 藤田 峰子, 隆島 研吾. (2022). 免荷式歩行器を用いた歩行練習が回復期脳卒中片麻痺者の歩行速度に与える即時的变化. 支援工学理学療法学会誌, 2 巻 1 号, 5-13.
- 2) 黒澤千尋, 小池友佳子, 白濱勲二, 藤田峰子, 玉垣努. (2023). コロナ禍における活動自粛が地域在住自立高齢者の心身機能に与えた影響—3年間の追跡調査から—. 神奈川県立保健福祉大学誌. 第 20 巻第 1 号, 71-81.

### 3 その他の著作

- 1) 渡邊郁海, 藤田峰子, 島津尚子, 隆島研吾. (2023). 電気刺激による筋収縮が筋膜滑走性に与える影響. 理学療法：技術と研究, 51 号, 87-89.

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 新人教育部長.
- 2) 一般社団法人日本物理療法学会 理事.
- 3) 一般社団法人日本物理療法学会 研究倫理委員会
- 4) 一般社団法人日本物理療法学会 研究助成審査員
- 5) 『物理療法科学』 論文査読員.
- 6) 『技術と研究』 論文査読係.

### 5 社会貢献

- 1) 神奈川県伊志田高校, 系統別大学説明会「正しく立てていますか?正しい姿勢・運動とは」. 2022.10.27.
- 2) 令和4年度オープンキャンパス個別相談 (オンライン).
- 3) 大学共通試験監督.
- 4) 老人クラブ連合会「令和4年度横須賀・三浦ブロックゆめクラブ大学」企画運営

### 6 講演, 放送

- 1) 神奈川県理学療法士会 2023 年度新人オリエンテーション「新生涯学習制度について」 2022.4.17.

### 7 学会等での活動

- 1) 佐藤 由貴子, 柳場 真樹, 富樫 たつ子, 中島 朋美, 池野 みゆき, 藤田 峰子, 安藤 里恵: 透析中のベルト電極式骨格筋電気刺激がフレイルを呈する患者への身体機能に与える影響. 第 67 回日本透析医学会学術集会, 2022.7.1～3.
- 2) 日本物理療法合同学術大会 2023 一般演題座長. 2023.2.19.
- 3) 第 2 回神奈川県士会主催症例検討会の座長. 2022.11.6.

## 8 学内教育活動

- 1) 2年次必修科目「機能評価学演習」における視聴覚教材の作成
- 2) 3年次必修科目「物理療法学」における視聴覚教材の作成
- 3) 3年次必修科目「物理療法学演習」における視聴覚教材の作成
- 4) 3年次必修科目「循環器系運動療法学」における視聴覚教材の作成
- 5) 3年次必修科目「理学療法過程論」における視聴覚教材の作成. 特に電子カルテを用いた演習のための視聴覚教材の作成に取り組んだ.
- 6) 3年次必修科目「理学療法学研究法」における視聴覚教材の作成
- 7) 3年次必修科目「理学療法学研究法演習」における視聴覚教材の作成
- 8) 4年次必修科目「卒業研究」における指導 (3名)
- 9) 徒手療法特論 (非常勤講師) 講義補助
- 10) 大学院博士前期課程 M1 1名 指導教員
- 11) 大学院博士前期課程判定 主査1名、副査1名
- 12) 大学院「臨床理学療法学特論」における講義視聴覚教材作成、「特論演習」の研究指導
- 13) 学部における入試面接官
- 14) 大学院における入試面接官
- 15) 20期生担任業務

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会
- 2) 時間割ワーキンググループ部門
- 3) 学長特別プロジェクト研究班
- 4) OSCE (客観的臨床能力試験) ワーキンググループ

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 藤田峰子. 高齢女性尿失禁者の骨盤底筋収縮を促通する干渉低周波トレーニングの開発. 基盤研究 C (継続).

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 渡邊 恵研究代表者, 長島 俊輔, 加藤木 真史, 佐々木 杏子, 森 朱輝, 水戸 優子, 藤田 峰子, 長山 洋史, 池田 公平, 黒澤 千尋, 五味 郁子, 樋口 良子, 福岡 梨紗, 玉川 淳, 高橋 恭子, 岸川 学, 志村 華絵. 事例提供ツールとしての模擬電子カルテの開発と導入～多職種連携能力育成を意図した事例学習プログラムの検討と教育評価～. 令和4年度学長推薦研究費, 2,500千円, 2022.7.19～2023.3.31.
- 2) 黒澤 千尋, 玉垣努, 白濱勲二, 藤田峰子, 小池友佳子. 地域在住自立高齢者における運動及び認知機能の調査. 令和4年度地域貢献研究センター研究事業費, 140千円

## 14 その他

- 1) 広報活動のための高校訪問 (県立金沢高校、横浜東高校)

## 黒澤 千尋

### 2 学術論文

- 1) 黒澤千尋, 島津尚子, 甲斐 義弘: 簡易動作計測システムの開発 —Timed Up and Go Test の方向転換動作に着目して—. 臨床歩行分析研究会誌, 2022, 9(2): 7-13.
- 2) 黒澤千尋, 小池友佳子, 白濱勲二・他: コロナ禍における活動自粛が地域在住自立高齢者の心身機能に与えた影響 —3年間の追跡調査から—. 神奈川県立保健福祉大学誌, 2023, 20; 71-81.
- 3) 黒澤千尋, 小池友佳子, 白濱勲二, 藤田峰子, 玉垣努, 島津尚子, 甲斐義弘: Timed Up and Go Test に着目した新しい運動評価方法の開発—地域在住自立高齢者を対象とした有用性の検証—, 理学療法科学, 38(2), in press.

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 横須賀三浦地区 PT 懇話会 事務局担当 (2022年4月～2023年3月)
- 2) 日本健康・栄養システム学会「リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取組に関する調査研究事業」事業実施小委員会委員 (2022年6月～2023年3月)
- 3) 神奈川県理学療法士会研究支援部 令和4年度研究助成審査員 (2022年4月～2023年3月)

### 5 社会貢献

- 1) よこすか海辺ニュータウン地区社会福祉協議会との合同企画: 高齢者運動機能測定会の開催 (2022年11月対面開催)
- 2) 神奈川県庁 新型コロナウイルス対策本部への応援派遣 (2022年4月～2022年8月)

### 6 講演, 放送

- 1) NPO ズシップ連合会 講義「高齢社会を生き抜く」講師 (2022年10月～2022年12月)

### 8 学内教育活動

- 1) 運動学演習 (2年次前期) 5コマ, 計測および解析補助
- 2) 動作解析学 (3年次前期) 2コマ, 計測および解析補助
- 3) 機能評価学演習 (2年次後期) 1コマ
- 4) 中枢神経系機能障害評価学 (2年次後期) 15コマ
- 5) 解剖学実習引率 1回 (2022年11月)
- 6) 国家試験対策ショートレクチャー 1コマ
- 7) 卒業研究指導 (4年生 2名, 3年生 2名)
- 8) 臨床実習オリエンテーション (3年次) 1コマ
- 9) 国家試験対策 (4年次) 随時実施
- 10) 非常勤講師および外部講師 調整担当 (2022年4月～2023年3月)
- 11) 徒手療法特論 (3年次後期), 小児中枢神経系運動療法学 (3年次後期), 理学療法対象者行動論 (3年次後期) 非常勤講師対応
- 12) 小児中枢神経系運動療法学 試験監督補助 (後期試験)

- 13) OSCE 試験監督 (3年次後期)
- 14) 臨床実習指導者講習会 (2022年9月30日・10月1日)
- 15) ヒューマンサービス総合演習 発表会 コメンテーター (2023年1月10日)

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 入試業務 (推薦入試, 共通テスト, 前期試験)
- 2) オープンキャンパス業務 (2022年8月5・6日)
- 3) 理学療法学専攻実習担当 (2022年4月～2023年3月)
- 4) 卒業式・修了式及び入学式実行委員会 (2022年4月～2023年3月)
- 5) 実習センター運営委員会 委員 (2022年4月～2023年3月)
- 6)

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 新しい生活様式に適した地域在住自立高齢者のためのアセスメントおよび介入方法の開発 若手研究 2021年度～2022年度 (3900千円)

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 渡邊恵, 長島俊輔, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森朱輝, 水戸優子, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 黒澤千尋, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 玉川淳, 高橋恭子, 岸川学, 志村華絵. 事例提供ツールとしての模擬電子カルテの開発と導入～多職種連携能力育成を意図した事例学習プログラムの検討と教育評価, R4年度学長推薦研究.

## 14 その他

- 1) 医療法人横浜柏堤会 よこすか浦賀病院 非常勤職員. 2022年4月～2022年12月

## 小池 友佳子

### 2 学術論文

- 1) 黒澤千尋, 小池友佳子, 白濱勲二, 藤田峰子, 玉垣努. コロナ禍における活動自粛が地域在住自立高齢者の心身機能に与えた影響—3年間の追跡調査から—. 神奈川県立保健福祉大学誌. 2023; 20 (1) : 71-81.

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 研究支援部員 通年
- 2) 公益社団法人日本理学療法士協会 協会雑誌編集部会員 通年

### 5 社会貢献

- 1) よこすか海辺ニュータウン地区社会福祉協議会共催 高齢者体力測定会実施 2022.11.19
- 2) 令和4年度高校生向け大学説明会 模擬講義担当 2022.6.25

### 7 学会等での活動

- 1) 川寄康太, 足立徹也, 宮本晃, 小池友佳子, 小泉雅哉, 星野翔. 車椅子に座るポジションが臀部剪断力に及ぼす影響. 第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 岡山. 2022.11.4
- 2) 田中亨典, 川寄康太, 小池友佳子, 足立徹也, 星野翔, 小泉雅哉. ウェルウォークを使用した歩行練習により監視歩行を獲得できた者の要因分析. 第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 岡山. 2022.11.4
- 3) 星野翔, 田中亨典, 小泉雅哉, 川寄康太, 小池友佳子. リハビリ機器推進事業チームとして, 自主練習をマネジメントした軽度片麻痺者の症例報告. 回復期リハビリテーション病棟協会第41回研究大会. 岡山. 2023.2.24

### 8 学内教育活動

- 1) 生活環境学 (2年後期) 科目責任者 2022.10.6～2023.1.12
- 2) 機能評価学演習 (2年後期) 講義 2022.10.4～10.25、11.8.15
- 3) 筋・骨格系機能障害評価学 (2年前期) 講義 2022.4.15～5.13、6.3.10
- 4) 中枢神経系疾患アプローチ特論 (3年後期) 授業補助 2022.10.4～11.8、12.10
- 5) 地域理学療法学見学実習 実習後セミナー (3年後期) 2022.8.18
- 6) 呼吸・代謝系理学療法学 (3年前期) 授業補助 2022.6.1
- 7) 理学療法研究法演習 (3年後期) 研究指導
- 8) 卒業研究 (4年通年) 研究論文指導
- 9) 専攻内理学療法士国家試験対策ショートレクチャー講義 2022.11.22
- 10) 理学療法見学実習 実習後セミナー 2022.9.27
- 11) 保健医療福祉論 I 事前・事後指導 2022.7.19、8.10
- 12) 実習後 OSCE 2022.7.28
- 13) 評価学実習、総合臨床実習 I・IIにおける現場訪問等

9 学内各種委員会活動

- 1) 広報委員会
- 2) 卒業研究関連業務担当
- 3) 理学療法学専攻見学実習・総合臨床実習担当補助、実習の手引き作成担当
- 4) 臨床実習指導者会議担当補助
- 5) オープンキャンパス担当
- 6) チューター会担当
- 7) 専攻 SNS 運用担当
- 8) 臨床実習指導者講習会ワーキンググループ、当日運営担当
- 9) 専攻実習ワーキンググループ

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 平成 29 年度科学研究費補助事業 若手研究 B「要支援高齢者における運動習慣の促進・阻害要因の量的・質的分析」研究代表者（平成 29 年～令和 4 年（3,120 千円）

14 その他

- 1) 社会福祉法人聖テレジア会 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 非常勤理学療法士・研究指導

## 田中 繁治

### 1 著書

- 1) 内山靖 (編), 加藤浩, 田中繁治, 他 (2023 年). 図解 理学療法検査・測定ガイド 第 3 版. 東京: 文光堂
- 2) 玉利光太郎 (編), 天野徹哉, 田中繁治, 他 (2023 年). 理学療法エビデンスの“つかいかた・つくりかた・つたえかた”. 東京: O&P Medical Publishing

### 2 学術論文

- 1) Jung H, Tanaka S, Tanaka R. (2022). Body Composition Characteristics of Community-Dwelling Older Adults With Dynapenia or Sarcopenia. *Frontiers in nutrition*, 9, 827114-827114.
- 2) Tanaka S, Inoue Y, Masuda Y, Tian H, Jung H, Tanaka R. (2022). Diagnostic Accuracy of Physical Examination Tests for Suspected Acute Anterior Cruciate Ligament Injury: A Systematic Review and Meta-Analysis. *International journal of sports physical therapy*, 17(5), 742-752.
- 3) Tanaka S, Jung H, Yamashina S, Inoue Y, Nakashima N, Tanaka R. (2022). Clinical prediction rule for locomotive syndrome in older adults: a decision tree model. *Journal of Orthopaedic Science*, in press.
- 4) 濱野友生, 村浦広樹, 田中繁治. (2022). 外因性リスク対策下での入院患者における転倒の内因性リスクの検討. *保健医療学雑誌*, 13(2), 77-85.
- 5) Jung H, Tanaka S, Tanaka R. (2022). A cutoff value for body composition on the severity of locomotive syndrome in Japanese older women: A cross-sectional study. *Health Care for Women International*, in press.
- 6) Hirohama K, Tamura H, Hamada K, Mitsutake T, Imura T, Tanaka S, Tanaka R. (2022). Effects of Non-Face-to-Face and Noncontact Interventions on Knee Pain and Physical Activity in Older Adults With Knee Osteoarthritis: A Systematic Review and Meta-Analysis. *Journal of Aging and Physical Activity*, in press.
- 7) Fujimoto T, Tanaka S. (2022). Skeletal muscle tissue composition ratio in patients with hip fracture: comparison of fractured side and non-fractured side. *Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation*, in press.
- 8) Nishimoto J, Ono K, Imura T, Mitsutake T, Tanaka S, Inoue Y, Jung H, Tanaka R. (2022). Effects of combined exercise and psychological interventions on psychological factors in patients who underwent total knee arthroplasty: A systematic review of randomized controlled trials. *International Journal of Gerontology*, in press.

- 9) Hamada K, Tamura H, Hirohama K, Mitsutake T, Imura T, Tanaka S, Tanaka R. (2022). The effectiveness of group education in people over 50 years old with knee pain: A systematic review and meta-analysis of randomized control trials. *Musculoskeletal science & practice*, 62, 102627-102627.
- 10) Yamashina S, Tanaka S, Jung H, Inoue Y, Higashi A, Tanaka R. (2022). Estimation of reference intervals for physical fitness indicators in healthy community-dwelling older adults. *Gazzetta Medica Italiana - Archivio per le Scienze Mediche*, in press.

#### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 生涯学習部 副部長 通年
- 2) 内閣府 国際アジア健康構想協議会 メンバー 通年
- 3) 日本理学療法士協会国際課 協力者
- 4) 日本理学療法士協会 JPTA Online Physical Therapy Exchange Program 特派員
- 5) 専門学校川崎リハビリテーション学院同窓会理事

#### 5 社会貢献

- 1) 埼玉県立大学 学内勉強会 講師 2022.7.11
- 2) 石井病院 (群馬県) 院内勉強会 講師 2022.7.12
- 3) 日赤和歌山医療センター (和歌山県) 院内勉強会 講師 2022.8.19
- 4) 市立吹田市民病院 (大阪府) 院内勉強会 講師 2023.1.23
- 5) 国際誌 *Journal of International Exercise Science* 査読委員
- 6) オープンキャンパス運営担当
- 7) 大学広報活動として桐光学園高校への訪問
- 8) KKU-KUHS 3rd online mini-conference 座長

#### 6 講演, 放送

- 1) 第 25 回静岡県理学療法士学会 講師 2022.6.26
- 2) 広島県理学療法士会主催研修会 講師 2022.8.28
- 3) 愛媛県理学療法士会主催研修会 講師 2022.11.5
- 4) 神奈川県理学療法士会主催研修会 講師 2022.12.18

#### 7 学会等での活動

- 1) 第 39 回神奈川県理学療法士学会 演題査読
- 2) 日本理学療法士協会 専門理学療法士 (運動器)
- 3) 日本理学療法士協会 専門理学療法士 (スポーツ) 取得
- 4) Ono K, Nishimoto J, Imura T, Mitsutake T, Inoue Y, Tanaka S, Tanaka R. The effects

of walking training with pales on walking ability: A systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials. World Physiotherapy Asia Western Pacific Regional Congress with HKPA Conference 2022 , 2022 年 6 月

- 5) Nishimoto J, Tanaka S, Inoue Y, Tanaka R. Minimal clinically important differences of the Japanese Knee Injury and Osteoarthritis Outcome Score (J-KOOS) in patients who underwent total knee arthroplasty. World Physiotherapy Asia Western Pacific Regional Congress with HKPA Conference 2022, 2022 年 6 月
- 6) Onishi K, Kurita Y, Tanaka S, Hori Y, Matsumura K, Miura Y. Does 2 weeks of knee compression after total knee arthroplasty have effects on motor function? a controlled before-and-after study. ISPRM 2022, 2022 年 7 月
- 7) Tanaka S, Jung H, Tanaka R. The relationship between frailty and body composition in older adults. ISPRM 2022, 2022 年 7 月
- 8) 山科俊輔, 田中繁治, 鄭勳九, 井上優, 東有明, 田中亮. 地域在住高齢者における体力指標の基準範囲の作成ーブートストラップ法を用いたシミュレーション推定ー. 第 9 回日本地域理学療法学会学術大会, 2022 年 12 月
- 9) 濱田和明, 井上優, 田中繁治, 鄭勳九, 山科俊輔, 廣濱賢太, 山崎諒, 田中亮. 片脚立位時の運動学的データを用いたロコモティブシンドローム判別モデル: 横断研究. 第 9 回日本地域理学療法学会学術大会, 2022 年 12 月
- 10) 廣濱賢太, 村尾竜次, 波谷春花, 町田恵, 宮崎晃輔, 市加裕弥, 吉本光佑, 堀田寛史, 田中繁治, 井上優, 田中亮. 変形性股関節症罹患患者における軽度認知障害と疼痛, 身体機能, 疼痛関連項目との関連. 第 26 回広島県理学療法士学会, 2022 年 12 月

## 8 学内教育活動

- 1) 「筋骨格系運動療法学」における視聴覚教材の作成
- 2) 「筋骨格系運動療法学実習」における視聴覚教材の作成
- 3) 「解剖学実習Ⅱ」における講義補助
- 4) 「保健医療福祉論Ⅰ」における講義補助
- 5) 「ヒューマンサービス総合演習」における講義補助
- 6) 「救急救命学」における講義補助
- 7) 「理学療法学研究法演習」における研究指導 (2名)
- 8) 理学療法学専攻 OSCE 試験官
- 9) 理学療法学専攻国家試験対策担当
- 10) 理学療法学専攻国家試験対策ショートレクチャー担当
- 11) 理学療法学専攻入学者オリエンテーション担当
- 12) 臨床実習指導者会議運営担当

- 13) 共通テストの試験官
- 14) 一般前期・後期入試の運営参加
- 15) オープンキャンパス運営担当
- 16) 教授会出席

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 図書委員会 委員 通年
- 2) ヒューマンサービス総合演習実行委員会 委員 通年
- 3) 卒業式・修了式および入学式実行委員会 委員 通年
- 4) 保健医療福祉論 I タスクフォース 通年

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 主任研究者：田中繁治 (研究代表者)  
研究課題名：エビデンスに基づく人工股関節全置換術前後のシームレスな理学療法プログラムの構築  
補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究  
研究期間：2020年4月1日-2024年3月31日
- 2) 研究分担者：田中繁治 (研究代表者：田中 亮)  
研究課題名：非薬物的介入を行っても効果が得られない難治性膝痛を有す高齢者の個人特性の解明  
補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)  
研究期間：2020年4月1日-2023年3月31日
- 3) 研究分担者：田中繁治 (研究代表者：米津 亮)  
研究課題名：中枢性疾患の身体を動かす抵抗感を体感できるオンラインリハビリテーション教材の開発  
補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究 (萌芽)  
研究期間：2021年4月1日-2023年3月31日
- 4) 研究分担者：田中繁治 (研究代表者：井上 優)  
研究課題名：ICTを導入したハイブリッド型支援のフレイル予防の有効性と社会インパクトの評価  
補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)  
研究期間：2021年4月1日-2023年3月31日
- 5) 研究分担者：田中繁治 (研究代表者：米津 亮)  
研究課題名：蹴り出し推進型短下肢装具の開発ー中足指節関節の伸屈両立性を担保できるソール素材ー  
補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (B)  
研究期間：2021年4月1日-2024年3月31日

- 6) 研究分担者：田中繁治（研究代表者：西元 淳司）  
研究課題名：生物心理社会モデルに基づく術後膝痛予防プログラムが人工膝関節全置換術後の膝痛に及ぼす影響  
補助金名：日本ペインリハビリテーション学会研究助成  
研究期間：2022年4月1日-2023年3月31日
  
- 7) 研究分担者：田中繁治（研究代表者：西元 淳司）  
研究課題名：変形性膝関節症に罹患して人工膝関節全置換術を施行された患者における日本語版 Knee Injury and Osteoarthritis Score (J-KOOS) の臨床的意義のある最小差  
補助金名：一般社団法人リハビリテーション医学研究財団 研究助成  
研究期間：2022年4月1日-2023年3月31日
  
- 8) 研究分担者：田中繁治（研究代表者：米津 亮）  
研究課題名：変形性膝関節症の予防に向けた若年女性の膝関節機能に関する実態調査  
補助金名：令和4年度女性未来研究所 助成金  
研究期間：2022年4月1日-2023年3月31日
  
- 9) 研究分担者：田中繁治（研究代表者：田中 亮）  
研究課題名：エビデンスに基づいたロコモティブシンドローム早期対策の実践に資する包括的研究  
補助金名：令和4年度厚生労働科学研究費補助金  
研究期間：2022年4月-2024年3月

## 12 受賞

- 1) 日本整形外科学会 令和3年度 JOS Best Paper Award 受賞

## 14 その他

- 1) 東京家政大学非常勤講師（看護医学英語、医療英会話を担当）
- 2) 神戸大学大学院保健学研究科保健学研究員（博士後期課程在籍の大学院生2名を指導）
- 3) 広島大学大学院人間社会科学研究科研究員（博士後期課程在籍の大学院生2名を指導）